

日本福祉のまちづくり学会中国四国支部 研究・活動発表会 発表概要執筆要領

福祉太郎¹・まちづくり花子²
Taro Fukushi¹・Hanako Machidukuri²

この部分には、200文字程度の和文による抄録を、本文と同じ文字の大きさと字体で記述する。また、キーワードは、ゴシック体(10.5ポイント)、和文6語以内で記述する。なお、本学会は分野横断的な性格を有することから他分野の参加者にも容易に理解、利用できるような配慮(たとえば、タイトルに副題を追加する)が必要である。また、発表申込、発表概要原稿提出はE-mail(yamaoka@kure-nct.ac.jp)で行う。

キーワード: 日本福祉のまちづくり学会、概要集原稿

Keywords: Japanese Association toward Caring Society for All, Submit a Paper

1. 発表概要集の意義

発表概要集は、発表者の報告内容を聴衆に正しく伝達するために準備するものである。発表概要は他の研究者にとっての参考文献としても末永く活用されるものである。

2. 発表概要の文章表現

研究論文、研究報告などは「である調」で書くのが一般的であることから、本説明文も「である調」で表現している。

3. ページ数と内容の構成

発表概要のページ数は、1演題につき2ページ～4ページとする。発表概要は、タイトル(主題)、サブタイトル(副題:必要に応じて)、著者名、概要、キーワード、本論、参考文献等の順で構成される。このうちタイトル(主題)およびサブタイトルは、次の書式で記述すること。

3-1 タイトル(主題)

ゴシック体、12ポイント、中央寄せ

3-2 サブタイトル(副題:必要に応じて)

ゴシック体、12ポイント、中央寄せ

3-3 著者

明朝体、10.5ポイント以上、右寄せ

4. 本文の文字のスタイルと大きさ、配置

原稿はA4版仕上がりで、活字は本文において、明朝体で概ね10.5ポイント程度とし、1段は21文字40行、段間は2字あきの2段組を標準とする。余白

は上30mm下左右共25mm。原則このファイルをフォーマットとして活用することを求める。ただし、ワードプロセッサの印刷機能により、厳密にこの書式がとれない時はできるだけそれに近い文字の大きさや文字数、行数とする。

5. 図表の文字のスタイルと大きさ等

図・表・写真のタイトルは日本語を基本とし、ゴシック体、10.5ポイントを基本とする。図は「図1」のように番号をふり、図の下側中央付近に配置する。表は「表1」のように番号をふり、表の上側左部分に配置する。写真は「写真1」のように番号をふり、写真の下側中央付近に配置する。図、表、写真等は原稿の適切な位置に貼り込む。

発表概要は、見る人の色覚の多様性を考慮し、印刷時の色飛びや印刷効果、カラー表示時等に配慮すること。

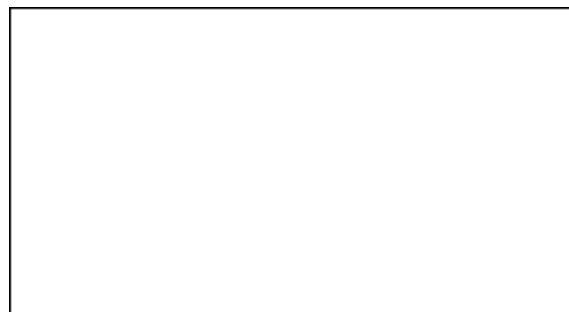


図1 図タイトルの例

表1 表タイトルの例

--	--	--	--



写真1 写真タイトルの例
6. 本文の構成¹⁾と記述の方法

本文は、研究の目的、方法、結果(分析)、考察、まとめ(今後の展開)などの章と、これら章の内容を細分化して説明する項、節で構成される。

これら章、節、項の記述方法は、以下の様式とする。なお、章の区切りは1行空行を挟むこととする。章と節、項の間は、空行を挟まない。書式を統一するのは、学会の発表概要集としての形式を整え、発表概要を読みやすくするための一つの手法である。

1. 章タイトル

ゴシック体太文字、本文と同文字サイズ、左寄せ

1-1 節タイトル

ゴシック体、本文と同文字サイズ、左寄せ

1-1-1 項タイトル

ゴシック体、本文と同文字サイズ、左寄せ

なお、内容でこれら分類ではなく項目番号等を付けたいときには、(1)のように括弧付き数字あるいはa、b、c、等を用い、容易に項目が分かるように配慮すること。

以下に、標準的な発表概要の章構成を示す。

(1) 研究目的(もしくは「はじめに」)

本文の導入となるもの、研究に関連した社会情勢や周辺領域に関する動向などを簡単にまとめる。他分野の人に、研究の位置づけを示すことも重要である。

(2) 研究(調査)方法

郵送調査やインタビュー調査では、対象、内容と時期、具体的な実施方法、実験等では、装置概要、実験方法、被験者と実施時期、実施場所等を記す。これらについては、図や表にした方が端的に表せるときは図・表にする。

(3) 研究(調査)結果

得られたデータや集計結果を書く。結果を表、もしくは図化したものの方が、限られたスペースで多くの情報をわかりやすく伝えることができる。

(4) 考察

結果を受けて、その内容を筆者なりに考えた内容を記す。

(5) おわりに(もしくは「今後の展開」「まとめ」等)

今後この研究をどのように展開していきたいのかなどをまとめる。

(6) 参考文献等

研究をすすめるにあたって参考とした文献や、文中での結果の比較や考察などのために引用されたものをいう。引用した文献は、引用箇所とページを明記する。いずれも、活字を本文より1ポイント程度落とすと良い。

(この執筆要領の最後に例を掲載)

7. 提出要領、提出期限等

7-1 概要集原稿の提出

概要集原稿の提出は、発表の題目、発表者の氏名、所属、連絡先と、原稿のデータファイル(PDFファイル)を添付とすること。

7-2 概要集原稿の提出

(1) 提出様式

原則としてPDFファイル(Adobe Acrobat Readerで表示、印刷が可能なもの)を提出すること。作成したPDFファイルは、執筆者の意図した通りに印刷されるかどうか確認すること。

(2) PDFファイルサイズ

ファイルサイズは、3MB以下とすること。ファイルのサイズが3MBを超えている場合は、張り込まれている写真等画像データの解像度を下げる(例: MS-Wordの「図の圧縮」機能の活用)などの方法でファイルサイズを下げる。

(3) 文字の色

文字の色は黒とする。文字以外の色使いの制限は特に設けないが、見る人の色覚の多様性を考慮し、印刷時の色飛びや印刷効果、カラー表示時等に配慮すること。

(4) 使用するフォント

フォントは、表2に示すものを原則とする。

これ以外のフォントを使用する場合は、PDF作成時にフォントの埋め込みを行うこと。

表2 使用可能なフォント一覧

OS	Windows	Mac (MS-Word)
日本語	MS明朝／ゴシック MS P 明朝／ゴシック MS PR明朝／ゴシック	MS明朝／ゴシック MS P 明朝／ゴシック
英字	Arial、Century、Times New Roman	

(5) 原稿提出時のセキュリティの設定

PDF化の際にはページ番号を挿入しないこと。

また、PDF化の際のセキュリティ設定、パスワードロックを行わないこと。

(6) 申込時からのタイトル等の変更について

研究発表申し込み時からのタイトル変更や連名者の削除等について、発表登録申込締切り以降の発表情報変更は原則不可とする。

(7) 発表者・連名者について

発表者は中国四国支部の学会員であること。法人会員・賛助会員の構成員も可。連名者は非学会員でもよい。ただし、中国四国支部幹事会が認めた場合は、発表者が非学会員でもよい。

7-3 概要集原稿の提出期限

発表概要の提出は下記までE-mailによる添付ファイルでの提出とする。

【提出先】

日本福祉のまちづくり学会中国四国支部長
山岡俊一(呉工業高等専門学校)

E-mail: yamaoka@kure-nct.ac.jp

本年度の提出期限は2018年2月23日(金)とする。なお、提出後の原稿差し替えは行わない。

- 1) 八藤後 猛: シリーズ 論文を投稿してみよう、その1～その4 論文の構成と内容-、福祉のまちづくり研究、第4巻・第2号～第6巻・第2号
- 2) 川内美彦: ユニバーサル・デザイン バリアフリーへの問いかけ、学芸出版社、2001
- 3) 日本福祉のまちづくり学会: 日本福祉のまちづくり学会HP、<http://fukumachi.net/>、2006.7
- 4) Fukushi T, Machizukuri H: Instructions to submit a paper, Journal of Japanese Association for an Inclusive Society, vol.15 (1), pp.1-8, 2013

8. 著作権の扱いについて

本大会の概要集の著作権の取り扱いは、以下のように設定する。

- (1) 著者は、掲載された発表概要の著作権の使用を日本福祉のまちづくり学会に委託する。
- (2) 著者が自分の発表概要を自らの用途のために使用することについては、特に制限はない。
- (3) 編集出版権は日本福祉のまちづくり学会に帰属する

9. 発表方法

発表はパワーポイントを使用して行うことを原則とする。データの持ち込みは、USBメモリやCD-Rによることを原則とする。また、OHC、OHPは準備しないので、注意すること。

発表時間15分、質疑時間5分を標準的な発表時間としているが、投稿数によっては変更になる場合がある。

なお、その他の方法での発表をご希望の方はご相談ください。

10. 問い合わせについて

質問等は、E-mailを用いること。

【問い合わせ先】

日本福祉のまちづくり学会中国四国支部長
山岡俊一(呉工業高等専門学校)

E-mail: yamaoka@kure-nct.ac.jp

参考文献